

てほしいという意見が多くありました。また積極的な発言のなかには、民営化したらという意見もあり、財政的な負担を軽減すべきであるという声もいただきました。私ども、公立病院であるとはいえ、大きく時代が変わっていく中で、経営努力が今まで十分なされなかったということに、反省を踏まえ、求められております経営効率を実現していかねければならないと考えております。

個人質問

小川 吉孝 議員

●農業問題について

Q 山武市の基幹産業は農業だと思うがどうか。

A また基幹産業である農業経営は米価の下落、輸入野菜、生産コストの上昇により大変厳しい状況をどう認識しているか。

A 市長 山武市の産業を支える大きな柱だと思っております。農業経営だけで生活を成り立たせるには非常に厳しいと思います。

さまざまな観点から農業についてしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

Q 米価の下落に対し価格維持のため減反の見直しをするようですが減反問題にどう思うか。また他用途利用米に対する助成をもっと多くし、減反に対応する検討を願いたいかどうか。

A 市長 いろいろな面を含めると必ずしも100%達成に喜べないと理解しているが補助事業を行うには重要である。また現在の財政ではなかなか難しいと考えています。

Q 本年度は水稲防除に対する補助金をなくしました。来年度は検討し見直していただきたいがどうか。

A 市長 内部で検討し廃止に至った問題がクリアーできれば対応させていただきます。

Q オライはすぬまについて現在のどのような運営の方法を取っているのか。また経営の内容を教えてください。

A 市長 平成18年度、18万8,000人の利用、一日平均618人です。19年度は、9月末の半年間で11万人、一日平均710人

A 市長 市の直営施設なので道の駅としての基

本的な施設の維持管理は市が行ない、直売施設とレストランの運営をオライはすぬま企業組合に委託をしています。経営は昨年を上回る実績を持ち好調です。委託料、維持管理費から直売施設の使用料を差し引き、900万円を市が負担しています。

Q 指定管理者制度に移行しようことですが誰にどこまで移行するの。

A 市長 基本的には道の駅機能を含めすべてです。また一定期間はオライはすぬま企業組合にお願いするのが妥当と考えています。

個人質問

宍倉 弘康 議員

●さんぶの森元気館について

Q 現在の利用状況はどうか。

A 市長 平成18年度、18万8,000人の利用、一日平均618人です。19年度は、9月末の半年間で11万人、一日平均710人

Q 体育祭にはスポーツ保険を掛けるが、元氣

となり大幅に増えています。地域別では山武市内から45%、八街市31%、富里市6%、その他近隣市町で18%となっております。

Q 館内での安全対策と事故対応はどうか。

A 市長 安全対策は、利用者へ運動前の血圧測定、飲酒後の運動を控えるよう、体調不良時の運動中止などの、館内放送、館内表示や、安全な運動についての講習会を年6回行っています。さらに、館内の各エリアに監視員を配置し、安全な利用に努めています。スタッフへの講習として、人工呼吸、AEDの使用の講習、定期的な緊急時訓練を行っています。

Q 事故の対応については、万が一、施設の瑕疵による事故の傷害については、責任賠償保険による対応をしています。施設使用中に発生した傷害においては、他の公共施設同様に、利用者各自の対応をお願いしています。

Q 利用者金の改定と合わせて、個人の傷害保険は掛けられないのか。事故は突然起きます。市と利用者が揉め事が無いよう、安心して永く利用できるよう、検討していただきたい。

A 市長 現在市外の利用者が55%であり、市外の方に関しては、民間施設と同等の利用料金で良いのではないかと考えています。保険につきましては、個人で入っていただくか、利用料金に含まれて加入するか、利用者にとつてどちらが有利なのか、検討いたします。

個人質問

高橋 忠 議員

●地域振興について